



2021年10月18日

各位

上場会社名 株式会社 南陽
 代表者 代表取締役社長 武内 英一郎
 (コード番号 7417)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長兼経営企画室長 篠崎 学
 (TEL 092-472-7331)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月11日に公表した業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

2022年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四半 期純利益	1株当たり当 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,800	950	1,050	650	102.08
今回修正予想 (B)	16,600	1,150	1,300	850	133.44
増減額 (B-A)	△200	200	250	200	
増減率 (%)	△1.2	21.1	23.8	30.8	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	14,772	714	788	516	81.04

2022年3月期通期連結業績予想数値の修正(2021年4月1日~2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり当 期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	34,000	2,100	2,200	1,400	219.86
今回修正予想 (B)	35,000	2,350	2,500	1,600	251.17
増減額 (B-A)	1,000	250	300	200	
増減率 (%)	2.9	11.9	13.6	14.3	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	32,406	1,862	2,046	1,329	208.85

2022年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2021年4月1日~2021年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	12,000	550	350	54.97
今回修正予想 (B)	12,200	720	500	78.49
増減額 (B-A)	200	170	150	
増減率 (%)	1.7	30.9	42.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (2021年3月期第2四半期)	11,139	473	337	53.04

2022年3月期通期個別業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	25,500	1,100	750	117.78
今回修正予想 (B)	26,500	1,300	900	141.29
増減額 (B-A)	1,000	200	150	
増減率 (%)	3.9	18.2	20.0	
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	25,323	999	686	107.73

修正の理由

当第2四半期累計期間の業績（連結・個別）につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う活動自粛等の影響を勘案し業績予想を策定しておりましたが、建設機械事業において、災害復旧工事が継続して実施されたことで、レンタル機械の稼働率が向上いたしました。さらに、産業機器事業においては、停滞していた生産活動が再開し、ロボット関連や半導体等の一部の市場が好調に推移したこと等により、前回発表予想を上回る見込みとなりました。

通期の業績（連結・個別）につきましては、新型コロナウイルスの感染が再度拡大する懸念はあるものの、現時点においては落ち着きを見せており、第2四半期累計期間の動向から消費活動や設備投資についても回復傾向にあること等により、前回発表予想を上回る見通しであります。

(注)上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績につきましては、今後、様々な状況によって予想数値と異なる可能性があります。

● 配当予想の修正について

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (2021年5月11日発表)	—	15.00	—	51.00	66.00
今回修正予想	—	15.00	—	61.00	76.00
当期実績	—		—		
前期実績 (2021年3月期)	—	15.00	—	55.00	70.00

前期実績(2021年3月期)における期末配当金の内訳 普通配当 48円00銭 記念配当 7円00銭

修正の理由

当社は経営の合理化、効率化を推進し、収益力の向上、財務体質の強化をはかるとともに、安定配当を維持しながら連結純利益の状況に応じて配当額の向上に取り組むため、配当性向については連結純利益の30%程度を維持し、中間配当、期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

この度の業績予想修正に伴い、期末の配当予想について修正させていただきます。

以 上